

平成28年度  
ふるさと島根寄附金活用事業成果報告書  
～平成27年度寄附金を活用した事業の成果～

(問い合わせ先)

〒690-8501 松江市殿町1番地

島根県政策企画監室

電話番号：0852-22-6063

FAX番号：0852-22-6034

電子メール：kifu@pref.shimane.lg.jp

## ～目 次～

1	活用成果の概要	- 1 -
2	寄附金を活用して実施した事業の成果	- 2 -
(1)	産業の振興に関する事業	- 2 -
(2)	自然環境の保全に関する事業	- 4 -
(3)	医療・福祉の充実に関する事業	- 5 -
(4)	教育・文化の振興に関する事業	- 9 -
(5)	子どもの読書活動の促進に関する事業	- 11 -
(6)	竹島の領土権の確立に関する事業	- 14 -
(7)	森林の保全及び整備に関する事業	- 15 -
(8)	防災対策の推進に関する事業	- 17 -

# 1 活用成果の概要

平成27年度は3,038名の方から48,408,794円の寄附をいただきました。  
いただいた寄附は、ふるさと島根基金に積立て、次のとおり平成28年度の事業に一部を活用させていただきました。

寄 附 メニュー	寄附を活用した 事業費（円）	平成27年度 寄附額（円）
産業の振興	23,131,510	2,090,000
自然環境の保全	8,000,000	3,707,000
医療・福祉の充 実	10,041,697	4,120,000
教育・文化の振 興	10,422,735	3,140,500
子どもの 読書活動の促進	2,681,962	2,808,000
竹島の領土権の 確立	8,274,764	9,053,284
森林の保全及び 整備	51,255,649	1,524,000
防災対策の推進	5,200,728	385,000
事業の指定なし	-	※21,581,010
合計	119,009,045	48,408,794

※「事業の指定なし」分は、各メニューに配分して活用させていただきました。

## 2 寄附金を活用して実施した事業の成果

### (1) 産業の振興に関する事業

#### 【対象事業】

- ①島根県観光ガイドマップの作成  
(観光ガイドマップ「しまねパーフェクトガイドマップ」)
- ②未来へつなく工芸品総合振興事業
- ③島根県グローバル人材育成支援事業



#### 【事業の成果及び事業費】

##### ①島根県観光ガイドマップの作成

作成したガイドマップは、島根県の観光パンフレットとして、県内の宿泊施設、観光施設のほか、県外の旅行会社や観光イベント、県外高速道路のサービスエリア等で配布し、島根県の観光振興に役立てています。

発行部数：630,000部

事業費：12,766千円

##### ②未来へつなく工芸品総合振興事業

島根県で製造される伝統工芸品の県内外での認知度を向上させるため、パンフレット「しまねの伝統工芸」の作成や、島根の手仕事の紹介記事を雑誌に掲載し、PRを実施しました。

事業費：1,331千円

雑誌「さんいんキラリ」(掲載)



### ③島根県グローバル人材育成支援事業

島根県内企業でのインターンシップと海外留学を通じて、県内産業・地域の活性化に貢献するグローバルな人材を育成し、県内への定着を図るため、7名（島根大学4名、島根県立大学1名、松江高専2名）を選定し派遣を行いました。

事業費：9,035千円



### 留学生活動実績

No.	高等教育機関名	留学	
		留学先	目的
1	島根大学	カルフォルニア大学デービス校(アメリカ)	島根県のブドウ産業活性化のためのアメリカ留学
2	島根大学	ニュージーランド オーストラリア	外国人向け生活体験型ゲストハウスの運営
3	島根大学	イギリス、ドイツ	世界最先端のヘルスケア機器技術を学び、島根県をヘルスケア日本No1の街へ！
4	島根大学	南デンマーク大学	島根のための太陽電池修行
5	島根県立大学	インド	島根を売り込め！『グローバル営業人材』を目指す
6	松江高専	シンガポール	日本の一歩先を行くシンガポールの電力自由化を調査する
7	松江高専	オーストラリア	世界で通用する医療機器技術者となる

## (2) 自然環境の保全に関する事業

### 【対象事業名】

中国自然歩道管理事業

### 【事業の成果】

「鬼の下震」は、川の浸食によって様々な巨岩、奇岩が形成され特異な景観を作り出している景勝地で、ここにある遊歩道は、長距離自然歩道のモデルコースにも指定されていますが、倒木や落石のために通行できなくなっていたため、改修工事を実施し、再び渓谷周辺を四季折々の景観を楽しみながら散策出来るようになりました。

### 【事業費】

8,000千円



### (3) 医療・福祉の充実に関する事業

#### 【対象事業】

- ①医師確保情報発信事業
- ②看護師等確保対策事業（情報提供事業）
- ③がん情報提供推進事業
- ④健康長寿しまね推進事業
- ⑤認知症対策普及・相談・支援事業
- ⑥障がい者施策推進事業（山陰両県共同啓発事業「あいサポート運動」）

#### 【事業の成果及び事業費】

##### ①医師確保情報発信事業

県内勤務医師の確保につなげるため、医師確保対策の事業内容や赤ひげバンクなどの情報を掲載した「しまねの医師支援ガイドブック」を作成し、赤ひげバンク登録医師との面談時や説明会等で配布しました。

作成部数：600部

「しまねの医師支援ガイドブック」



臨床研修説明会



また、民間のWebサイト、メールマガジン、Facebook等に県の事業内容や県内医療機関の求人情報を掲載しました。

Webサイト



事業費：2,408千円



## ②看護師等確保対策事業

ガイドブックやパンフレットを作成し、県内外の看護学生、UIターンフェア来場者、高等学校等に配布し、県内就業の促進を図りました。

「病院ガイドブック」発行部数：1,000部

県内病院の採用情報や雇用形態などの情報を掲載

「県内看護師等養成所パンフレット」発行部数：2,550部

県内看護師等養成所の募集状況や看護職員になるために必要な情報を掲載

「中学生・高校生の一日看護学生・看護体験パンフレット」発行部数：400部

一日看護学生や看護体験ができる施設や開催日程等の情報を掲載

事業費：1,059千円

冊子



UIターンフェア

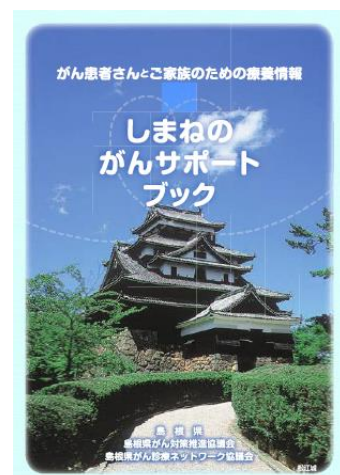


## ③がん情報提供推進事業

従来のサポートブックにがん患者の声を反映した「しまねのがんサポートブック改訂版」を作成し、県内がん診療連携拠点病院などの医療機関等で配布しました。

作成部数：20,000部

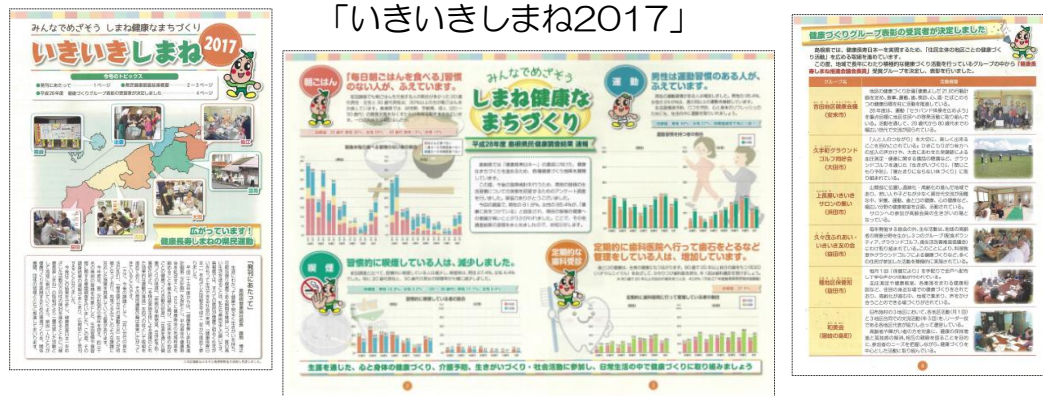
事業費：2,000千円





#### ④健康長寿しまね推進事業

健康寿命の延伸を目的とした「健康長寿しまね県民運動」の効果的な展開を図るため、県民を対象に行った生活習慣等に関する意識調査結果や、健康づくりに取り組む活動紹介を掲載した広報誌「いきいきしまね2017」を発行しました。



また、圏域ごとに取り組む健康づくり活動などについて紹介する広報誌を各保健所で発行しました。

事業費：1,035千円

#### ⑤認知症対策普及・相談・支援事業

認知症についての正しい理解を深めるため、公益社団法人認知症の人と家族の会との共催により、世界アルツハイマーデー（9月21日）を中心に、県内9カ所で認知症に関する街頭啓発活動を行いました。

- 益田地区：9月15日（木）益田市市内2カ所
- 出雲地区：9月17日（土）出雲市内2カ所、  
9月21日（水）出雲市内1カ所
- 大田地区：9月17日（土）大田市市内1カ所
- 浜田地区：9月17日（土）浜田市市内1カ所
- 松江地区：9月19日（月）松江市市内2カ所

事業費：977千円

街頭啓発活動



## ⑥障がい者施策推進事業

障がいのある方々への理解を深め、配慮や手助けを行う「あいサポート運動」を推進するため、チラシと啓発グッズを作成し、障害者週間にあわせて、県内各地のショッピングセンターなどで配布しました。

事業費：2,563千円

街頭啓発活動



あいサポートグッズ



## (4) 教育・文化の振興に関する事業

### 【対象事業】

- ①古代出雲歴史博物館特別展「日本のわざと美」開催事業
- ②「和食」普及推進事業

### 【事業の成果及び事業費】

- ①古代出雲歴史博物館特別展「日本のわざと美」開催事業

重要無形文化財の保持者や選定保存技術が複数存在する本県において、県民の伝統工芸に対する関心と理解をより深めるため、特別展「日本のわざと美」を開催しました。関連企画展示「守り、伝えられた島根の美」を同時開催することにより、重要無形文化財の「わざ」により生み出される美の魅力や、それを支える選定保存技術の重要性、さらに有形文化財を守り伝える意義を、より一層県内外の人々へ伝えることができました。

事業費：7,331千円



- ②「和食」普及推進事業

「和食」への関心を深め、和食の普及・推進、島根の食文化の伝承を図るため、出前授業・親子料理教室、和食推進授業を開催しました。

### 【出前講座・親子料理教室】

講師を招き、調理実習を2回実施しました。

浜田会場 10月13日(木) 浜田市立弥栄小学校  
12月7日(水) 浜田市立原井小学校

## [和食推進事業]

和食をテーマにした授業（学級活動や家庭科など）と授業後の研究協議を13校で実施しました。

大田市立川合小学校	6月21日（火）
益田養護学校	9月26日（月）
雲南市立加茂小学校	10月 5日（火）
益田市立美都中学校	10月21日（金）
西ノ島町立西ノ島小学校	11月11日（金）
浜田市立弥栄小学校	11月18日（金）
松江市立城北小学校	11月29日（火）
安来市立母里小学校	11月29日（火）
出雲市立斐川東中学校	11月30日（水）
美郷町立大和中学校	11月30日（水）
津和野町立日原小学校	12月 8日（木）
江津市立江津中学校	1月27日（金）
奥出雲町立横田中学校	2月23日（木）

事業費：3,091千円

## 和食推進事業の様子





## (5) 子どもの読書活動の促進に関する事業

### 【対象事業】

- ①しまね子ども読書フェスティバル
- ②「読みメン」プロジェクト
- ③キラキラしまね笑顔で読み聞かせフォトコンテスト
- ④おすすめしたいこどものほん
- ⑤「ねえ、この本読んで」プロジェクト

### 【事業の成果及び事業費】

- ①しまね子ども読書フェスティバル

子ども読書活動への理解を深めるとともに、子どもたちが読書活動に親しむきっかけとしていただくことを目指し、県内2カ所で開催しました。

#### 美郷会場

日時：7月31日（日）

会場：みさと館



#### 西ノ島会場

日時：11月28日（土）・29日（日）

会場：西ノ島町立中央公民館、保育園・小学校・中学校



事業費：500千円

## ②「読みメン」プロジェクト

とりわけ父親に子どもとの絆を深める絵本の読み聞かせの楽しさを体験してもらうため、読んだ本を記録する「しまね読みメンてちょう」を作成し、6月の「読みメン月間」にあわせて県内各公共図書館等に配布したほか、読書指導普及員による親子読書の普及活動や、読書・子育て関連のイベント時にも配布しました。

作成部数：4,000部

事業費：200千円

## しまね読みメンてちょう



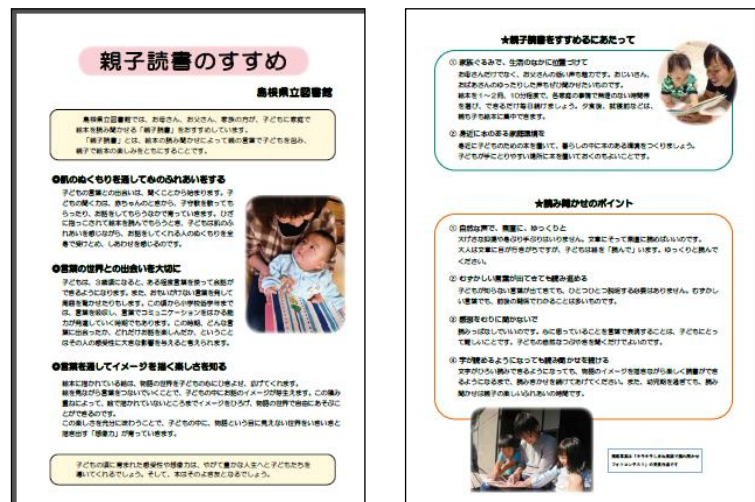
## ③キラキラしまね笑顔で読み聞かせフォトコンテスト

平成27年度に実施したフォトコンテスト入賞作品を利用し、読み聞かせ普及用パンフレット「親子読書のすすめ」を作成しました。

この「親子読書のすすめ」は、保育所や子育て支援センター等で開催される親子読書研修会などで、島根県立図書館読書普及指導員や親子読書アドバイザーが講話をする際に配布しました。

作成部数：12,000部

事業費：162千円



## 親子読書のすすめ（抜粋）



#### ④おすすめしたいこどものほん

推薦図書リスト「おすすめしたいこどものほん」（乳幼児向）（小学生向）に掲載する本の選書から購入を行い、県民や図書館、学校等の団体に貸し出しました。

また、市町村立図書館、幼稚園、読み聞かせボランティア等の活動に役立てるために、県立図書館と西部読書普及センターの2箇所、リストに掲載された図書を整備し、6市町11カ所で巡回展示を実施しました。

購入冊数：759冊

事業費：1,619千円

展示の様子



購入図書



#### ⑤「ねえ、この本読んで」プロジェクト

「ねえ！この本読んで」と子どもが親にせがみ、それに応えて親が子どもに絵本の読み聞かせをする家族の姿をイメージした読書活動で利用する「しまね子育て絵本」約1,000冊の中から、繰り返し利用するうちに破損してしまった傷みの激しいものを中心に174冊買い替えました。

事業費：201千円

破損した絵本



新しく買い替えた絵本



## (6) 竹島の領土権の確立に関する事業

### 【対象事業】

竹島の領土権の確立に関する事業

### 【事業の成果】

#### [研修会等の開催]

- ・ 竹島問題を考える講座 4回（6月、7月、9月、10月）
- ・ 絵本「メチのいた島」読み聞かせ（8月）

#### [広報啓発資料等の作成]

- ・ 竹島の日条例制定10周年記念誌 5,000部
- ・ 竹島資料室パンフレット 20,000部
- ・ 竹島啓発ポスター 6,000枚
- ・ 啓発グッズ  
シャープペンシル4,000本、クリアホルダー5,000枚、  
缶バッジ300個
- ・ 領土問題に関する調査研究報告書 1,500部

#### [竹島資料室の展示機能・展示内容の充実]

- ・ 出張竹島資料室の開催（8月・浜田市役所）
- ・ 特別展示の開催（2月1日～3月31日）  
開催期間中1,354人来室（参考）年間来室者4,984人

### 【事業費】

8,275 千円



## (7) 森林の保全及び整備に関する事業

### 【対象事業】

- ①みーもの森づくり事業（水と緑の森づくり事業）
- ②森林林業体験活動促進事業（県民の森整備）

### 【事業の成果及び事業費】

#### ①みーもの森づくり事業

県民のアイデアと参加による自主的な森づくり活動を支援するため、活動に必要となる経費の一部を助成しました。

#### <利用例>

雑木や竹が繁茂し荒廃した里山林を再生させるため、作業道整備後、住民自らが雑木や竹を伐採し、その跡地に広葉樹を植栽しました。

これによりこの里山は、景観が改善されただけでなく、地元保育園の園児達が訪れるなど身近な森とふれあう憩いの場として親しまれています。

今後も継続して植栽地の管理などを行い、次世代につなぐ森づくりを目指します。

事業費：47,214千円

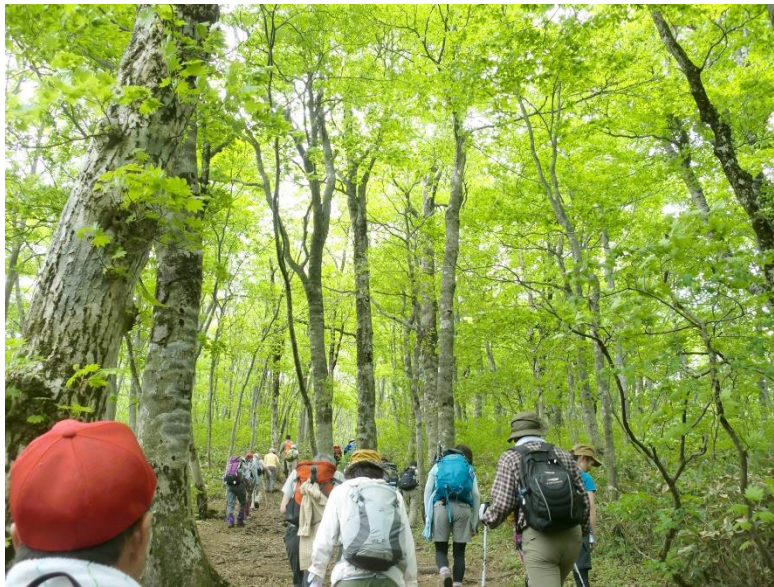


## ②森林林業体験活動促進事業

14回の県民の森ふれあい講座を開催し、登山やトレッキング等に257人の参加をいただきました。

また、遊歩道や登山道に倒れた樹木の処理や、松くい虫被害木の伐採、遊歩道の刈払い等を行い、同講座の参加者に限らず、県内外から訪れる多数の登山者等に県民の森を安心して利用していただいています。

事業費：4,042千円





## (8) 防災対策の推進に関する事業

### 【対象事業】

- ①土砂災害対策広報事業
- ②建築物等地震対策促進事業（耐震診断及び改修の啓発）
- ③地域防災人材育成研修

### 【事業の成果及び事業費】

- ①土砂災害対策広報事業

近年多発するゲリラ豪雨等による土砂災害に対して、被害を最小限にするため、以下の取組みを行い、日頃の備えや早めの避難など、県民の防災意識の醸成や地域防災力の向上を図りました。

#### [土砂災害防止学習会]

年間61回開催し、延べ約2,700人が参加



横田小学校での防災教室

#### [土砂災害啓発チラシの県民全戸配布]

25万部を作成し、県下全戸に配布

#### [ケーブルテレビによる啓発ビデオ放映]

4地域のケーブルテレビにおいて、土砂災害防止啓発ビデオを放映

#### [民放3局での土砂災害防止スポットCMの放送]

出水期に当たる6月20日から30日の間、民放3局で各20回、土砂災害に対する注意喚起を促すスポットCMを放送

事業費：3,007千円



スポットCM



全戸配布チラシ

## ②建築物等地震対策促進事業

県内17市町村において、計19回の学習会を開催し、延べ335名の参加がありました。

紙文書やスライドを用いた座学だけでなく、紙製キットや木造住宅模型を実際に揺らしてみる体験型の内容も取り入れる等、理解の向上に努めました。

事業費：994千円



「わが家の耐震診断」中





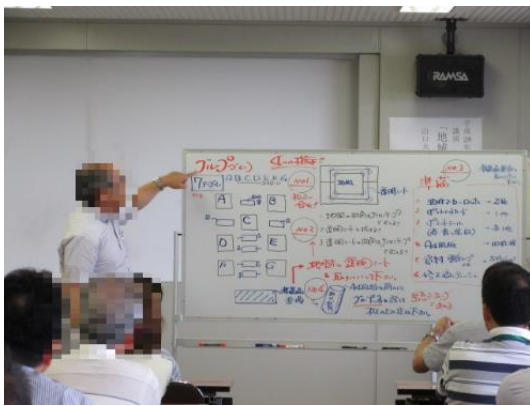
### ③地域防災人材育成研修

地域の防災力向上に向けて、自主防災組織の結成及び活動促進、市町村職員の防災意識向上につながる研修を県内で3回実施しました。

災害図上訓練	6月25日（土）	松江市
地域防災ワークショップ	10月25日（火）	江津市
津波避難訓練	11月27日（日）	江津市

事業費1,200千円

松江会場での災害図上訓練



江津会場での津波避難訓練

